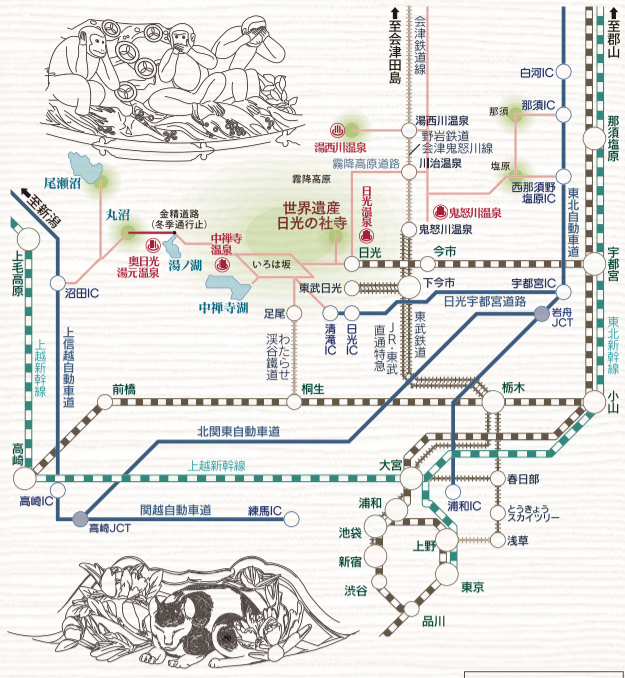


# ACCESS & WIDE AREA GUIDE NIKKO 交通のご案内



交通のご案内  
QRコードを読み取ってください。出発地から目的地までのルートや、所要時間などのアクセスを検索できます。

新宿・浅草から約2時間

●電車をご利用の場合 日光へのアクセスは直通運転で便利な東武鉄道・JR東日本で

【東武特急】  
浅草 約3分 → とうきょうスカイツリー 約10分 → 北千住 約22分 → 春日部 約74分 → 東武日光

【JR・東武直通特急】  
新宿 約6分 → 池袋 約18分 → 浦和 約7分 → 大宮 約87分 → 東武日光

【新幹線】  
羽田空港 東京モノレール 浜松町 約17分 → 東京 東武東上線 宇都宮 約50分 → 日光 約43分  
成田空港 成田エクスプレス 約60分

【わたらせ渓谷線】  
桐生 約13分 → 大間々 約67分 → 通洞 約51分 → 市野バス 約5分 → 東武日光

※所要時間は列車により異なります。

●お車・バスをご利用の場合

浦和IC 約98分 → 宇都宮IC 約25分 → 日光IC 約6分 → 清滝IC 約17分 → 中禅寺湖・湯元方面  
世界遺産日光の社寺

前橋IC 約34分 → 沼田IC 約56分 → 湯元温泉 約30分 → 日光  
世界遺産日光の社寺

高崎JCT 約8分 → 太田IC 約20分 → 足尾 約45分 → 日光 約24分

世界遺産のまち「日光」のご案内は…

一般社団法人 日光市観光協会  
〒321-1261 栃木県日光市今市717-1  
TEL●0288-22-1525 FAX●0288-25-3347  
URL●http://www.nikko-kankou.org

日光支部●〒321-1404 栃木県日光市御幸町591 日光郷土センター内 (制作 2019.9)

ようこそ「世界遺産のまち」  
「ラムサール条約登録湿地」  
の日光へ

日光温泉 日光グリーンホテルズ  
日光、むかし、なつかし、ふるさとの宿  
0288-54-2002  
〒321-1434  
栃木県日光市本町9-19

湯泉かけ流し 乳白色の露天風呂  
奥日光湯元温泉  
このパンフレットをご提示で日帰り入浴料を  
おとな1000円 → 900円  
子ども 800円 → 700円

奥日光高原ホテル  
TEL 0288-62-2121  
〒321-1662 栃木県日光市湯元 2549-6  
http://www.okunikko-kougenhotel.com

春茂登ホテルグループ  
日光千姫物語  
TEL 0288-54-1010  
http://www.senhime.co.jp/

日光清晃苑  
TEL 0288-53-5555  
http://www.hotel-seikoen.com/

日光春茂登  
TEL 0288-54-1133  
http://www.harumoto.net

日光東観荘  
TEL 0288-54-0611  
http://www.tokanso.com/

小蓮の宿 日光・炭火会席  
鶴亀大吉  
TEL:0288-54-1550

着物レンタル 日光うたかた  
KIMONO RENTAL 1,500円〜  
カジュアルから振袖まで勢揃い  
世界遺産エリア・神橋徒歩5分  
日光市中鉢石町918  
TEL 0288-53-6465  
lux-nikko.com

乳白色の天然温泉 日光ゆば料理  
露天風呂でゆったりお過ごし下さい  
季節のお花たちがお待ちしています  
奥日光湯元温泉  
ホテル 花の季  
TEL 0288-62-2426  
www.hotelhananoki.com

ようこそ「産業遺産のまち」  
の足尾へ

日光金谷ホテル  
TEL 0288-54-0001  
www.kanayahotel.co.jp/

中禅寺金谷ホテル  
TEL 0288-51-0001

登録有形文化財「金谷侍屋敷」  
金谷ホテル歴史館  
元は武家屋敷。金谷ホテルの前身  
「金谷カテドリック」の当時の様子を  
今も残す貴重な建造物です。  
TEL: 0288-50-1873  
www.nikko-kanaya-history.jp

日光 御食事処 山楽  
Japanese Restaurant SUNLUCK  
栃木県日光市安川町10-19  
tel. 0288-54-0292 (水曜定休)  
https://nikko-sunluck.com/

駅から5分の静寂  
ゆきすだや  
www.nikko-yuba.com  
日光 石野町バス停前  
TEL 0288-54-2151

「湯の湖」一望のにごり湯の宿 奥日光 おおるり山荘  
ハイキング 自然温泉  
TEL 0120-582-870  
ハイキング+1ドリンク  
1泊2食  
お一人様 5,800円  
【湯けむり号】東京・埼玉・千葉・神奈川から、格安価格で運行。【おあり】(休業日)  
泉質にごこだわって40余年  
鬼怒川・塩原・海谷川・那須・那珂川  
TEL 0120-368-001

JR日光駅前に建つモダンクラシックなホテル  
NIKKO STATION HOTEL  
TEL 0288-53-1000

国指定重要文化財◆日本の歴史公園100選  
日光田母沢御用邸記念公園  
日光市本町 8-27  
TEL 0288-53-6767  
http://www.park-tochigi.com/tamozawa/

# 日光近代歴史散策リーフレット 日光 懐古道 Retroad Nikko レトロロード ニッコウ



# 「近代日光のこぼれ話」

こぼれ話「ゆかりの人物編」  
Anecdote of Nikko

明治の日光を絶賛した旅行家  
イザベラ・バード  
Isabella Lucy Bird

英国人女性旅行家イザベラ・バードは、明治11年(1878)に初来日。同年、東京から日光を経て蝦夷(北海道)まで3か月かけて旅をしました。日光では「金谷カテドリック」に12日間滞在。1880年にロンドンで出版した著書 Unbeaten Tracks in Japan (日本奥地紀行)の中でバードは、特に「金谷邸」という章を設け、景観、建物、調度品さらに金谷家の人々のおもてなしの素晴らしさを記しています。

江戸時代の武家屋敷であった金谷カテドリックの建物は、バードが宿泊した当時の形をほとんど残したまま今日に至り、平成26年(2014)に国の登録有形文化財となり一般公開されています。

また、バードは同書の中で、「日光とは「日の輝き」の意味である。その美しさは詩歌や絵の形をとり日本中で讃えられている」(平井社「日本奥地紀行」金坂清則訳)と、日光の自然の美しさについても記述しています。

再来日の際、バードは親交のあった英国外交官アーネスト・サトウが明治29年(1896)に中禅寺湖南岸に建てた別荘に長期滞在しています。中禅寺湖には次に外国人の別荘が建てられ、日光は昭和初期まで国際避暑地として発展しました。各国大使によるヨットレースが毎週のように開催され、夏の風物詩となっていました。サトウが明治39年(1906)に離日した後、彼の別荘は平成20年(2008)まで英国大使館別荘として使用され、同28年(2016)7月に英国大使館記念公園として一般公開されました。

日光を戦火から救った  
明治の政治家  
板垣 退助  
Itagaki Taisuke

板垣退助は、土佐(高知県)出身で、明治初期に自由民権運動を展開し、自由党を結成した政治家です。「板垣死すとも自由は死なず」の名言で知られる板垣は、日光の歴史にも深い関わりがあります。

明治元年(1868)、戊辰戦争の際、日光山にたてこもった幕府軍大鳥圭介と対峙した官軍の将板垣は、日光の社寺を戦火にさらすことを避けるべく幕府軍を説得し、戦わずに下山させることにみごと成功しました。その遺徳を讃え、昭和4年(1929)に銅像を建立しましたが、第二次大戦時に供出され、現在ある銅像は昭和42年(1967)に再建されたもので、板垣が32歳当時の官軍の服装で日光の町並みを眺めています。

日本の近代化に  
貢献した実業家  
古河 市兵衛  
Furukawa Ichibee

天保3年(1832)京都で生まれた市兵衛は、生家の事業不振で幼い頃から大変苦しい生活をし、自身も家の為に一生懸命に働いていました。その後、商人を志し伯父を頼って盛岡へ赴きました。

後になって京都井筒屋小野店の古河太郎左衛門の養子となり、古河市兵衛と改名しました。ここで商才を発揮し、生糸販売をしていた市兵衛はその功績が認められ、明治2年(1869)に井筒本家から分家が許されました。

その後鉱山経営に乗り出し、明治10年(1877)には不振が続いていた足尾銅山を買取り、先頭を立て銅の採掘を始めました。いろいろと苦勞を重ねた結果、遂に明治17年(1884)に大鉱脈を発見し、足尾銅山発展の基礎を築きました。新技術の導入、銅山の電気・近代化を図り、明治20年(1887)には日本の全銅産出量の40%を占めるまでになり、市兵衛は日本の近代化の礎をつくった人物となりました。

明治36年(1903)、市兵衛は71年の生涯に幕を閉じました。

こぼれ話「できごと編」  
Anecdote of Nikko

日本の近代産業  
発祥の地  
足尾

足尾には、かつて日本一を誇った鉱山があり、日本の近代産業の先駆けとなりました。古河市兵衛が買取り、大鉱脈を発見した足尾銅山の中心となる通洞坑は、明治18年(1885)に開さくが始まり、同29年(1896)に完成しました。

開さくには、蒸気タービンによる圧縮空気を動力としたさく岩機や、ダイナマイトによる発破工法など、当時の最新技術が導入され、これは、積極的な技術革新を進めた古河鉱業の姿勢を表しています。

現在は、坑道の一部が足尾銅山観光として利用されています。また、平成20年(2008)3月に国史跡に指定されました。

中禅寺湖を襲った  
山津波と  
風水害

明治35年(1902)9月、歴史に残る激しい台風が関東地方を襲いました。この台風は東京湾から新潟にかけて横断し、その途中で足尾付近を通過しました。日光は雨風ともに大きくなる地点に位置していました。

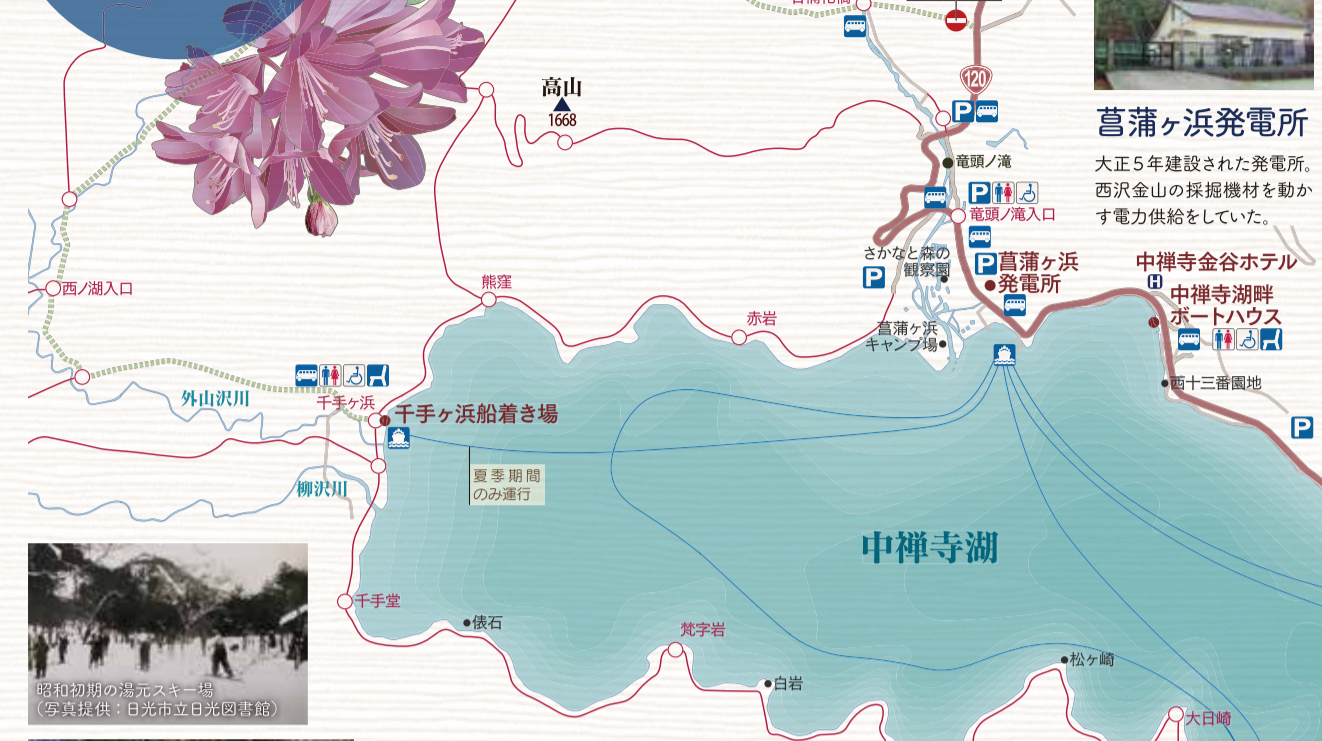
このとき、中宮祠では山津波が小学校を飲みこみ、土石流が中禅寺湖に流れ込みました。湖面は約3メートルの高波となり、湖畔に被害をもたらしながら、華厳ノ滝を越えて大谷川にも流れ込み、日光や足尾を襲いました。この風水害により、神橋、大谷橋、人家約100軒が流失。憾満ヶ淵の化け地蔵が押し流され、日光三大名瀑の一つ、裏見ノ滝も姿を変えました。

中宮祠の日光二荒山神社境内にあった立木観音は湖底へ沈んだ後、水面に浮かび上がり湖畔の歌々浜に流れ着きました。そこで、その地に中禅寺を再建し、立木観音を安置したという言い伝えがあります。





# 中禅寺湖 周辺エリア MAP



### 菖蒲ヶ浜発電所

大正5年建設された発電所。西沢金山の採掘機材を動かす電力供給をしていた。

# 中禅寺湖畔の国際社交場を訪ねるコース

アーネスト・サトウやトーマス・グラバーなど、文明開化期の日本に西欧文化をもたらした人々に思いを馳せながら、湖畔のリゾート地めぐりに出かけましょう。

### 中禅寺湖畔ボートハウス (旧金谷ボートハウス)

昭和22年に運ばれた米国の水辺リゾート施設をモデルに当時の姿をできる限り「復元」したもの。ベルギー王国大使館別荘が所有していたボートなども展示されている。

### 西六番園地

長崎の「グラバー邸」で知られるトーマス・グラバー、神戸北野の「ハンター通り」に名を残すハンズ・ハンターの別荘地跡。大正14年「東京アングリング・アンド・カンツリー倶楽部」として湖畔の社交場となった。当時の暖炉と煙突が残る。

### 中ノ茶屋跡 (第一いろは坂)

かつては女人禁制だったいろは坂。牛馬も上れなかったため、上り口は「馬返」と呼ばれた。途中にあった5つの茶屋のうち中ノ茶屋の跡地が残る。

モデルコース (移動時間/約4時間 移動距離/43km)	
JR・東武日光駅	東武バス 中禅寺温泉・湯元温泉行 バス約45分 (約17km)
中禅寺温泉バス停	徒歩約40分 (約2.5km)
イタリア大使館別荘記念公園	徒歩約5分 (約270m)
英国大使館別荘記念公園	徒歩約30分 (約2km)
立木観音入口 (交差点)	徒歩約20分 (約1km)
西六番園地	徒歩約50分 (約2.6km)
中禅寺湖畔ボートハウス	徒歩約1分 (約50m)
中禅寺金谷ホテル前バス停	東武バス約60分 (約20.5km)
JR・東武日光駅	

### 日光鋼索鉄道線(ケーブルカー)

昭和7年に開業した鋼索鉄道(ケーブルカー)は馬返駅から明平駅までを結び、馬返駅で日光軌道線と連絡する形で運行していたが昭和45年に廃止となった。

### 奥日光湯元温泉

日光の奥座敷といわれ、約1200年前に日光開山の祖・勝道上人が発見したといわれる名湯。イザベラ・バードも明治11年にこの地を訪れ本国への手紙に湯元温泉の賑わいを記したといわれている。また、今現在も利用できる湯元スキー場は昭和7年の開業である。昭和10年には冬季オリンピックの候補地にもなった。

### 光徳牧場

明治30年に創設者の吉田徳三郎氏が日光の「光」と自分の名前の「徳」の字を取って名付けたという牧場。搾りたての牛乳やアイスクリームが一年中味わえる。



### 英国大使館別荘記念公園

英国の外交官アーネスト・サトウは明治5年に奥日光を初めて訪れ、明治29年、湖畔に山荘を建てた。英国人女性旅行家イザベラ・バードも滞在し、国際避暑地の原点となった建物。



凡例	
トイ	トイレ
♿	障がい者用トイレ
🚗	マイカー規制
🚗	一般道
🚗	歩道
🚗	JR線
🚗	私鉄
🚗	湯元
🚗	高速自動車道
🚗	国道
🚗	温泉
🚗	密着施設
🚗	遊歩道
🚗	休憩場所
🚗	バス停
🚗	乗船場
🚗	駐車場
🚗	案内所
🚗	駐車場

### イタリア大使館別荘記念公園

昭和3年、チェコ出身の建築家アントニオ・レーモンドの設計で建てられた。杉皮張りの内外装も特徴的。平成9年まで歴代の大使が別荘として使用した。



### 日光植物園

東京大学大学院理学系研究科附属植物園(通称「小石川植物園」)の分園。高山植物や寒冷地の植物の研究と教育を主な目的として、明治35年に東照宮付近に開設され、明治44年に現在地へ移転した。

# 世界遺産エリアの近代文化に触れるコース

リンドバークやヘレン・ケラーなど内外著名人を魅了したホテルや皇室の御用邸跡など、和洋の近代建築を訪ね、日光に関わった人物や歴史に触れましょう。

### 日光の砂防堰堤群

日光東照宮の北を流れる稲荷川は暴れ川として知られ、大正7年から数多くの砂防堰堤が築かれた。そのうち8基が国の登録有形文化財。16基が土木遺産。※河川内施設のため見学の際は事故に注意!

### 日光金谷ホテル

明治6年創業。現存する日本最古のクラシックホテル。皇室をはじめリンドバークやアインシュタイン、ヘレン・ケラーなど、多くの著名人が宿泊。東照宮を模した彫刻や格調高い調度品が贅沢な気分を誘う。眠り猫や想像の象の彫刻、小食堂の格天井など内観も見どころ満載。国の登録有形文化財。本館のバーにある石造りの暖炉はフランク・ロイド・ライトの設計ともいわれている。

### 日光軌道線

日光駅前から馬返を結んでいた、路面電車。明治43年、日光電気軌道より日光駅-若ノ鼻間(現在の清滝付近)を開通。昭和43年に廃止されるまで市民から観光客までの交通手段として親しまれた。

モデルコース (移動時間/約83分 移動距離/8.5km)	
JR・東武日光駅	徒歩約22分 (約1.5km)
日光行政センター	徒歩約9分 (約650m)
日光物産商会	徒歩約2分 (約80m)
日光金谷ホテル(本館・別館)	徒歩約10分 (約600m)
旧ホーン邸(明治の館)	徒歩約15分 (約1km)
日光真光教会	徒歩約2分 (約150m)
金谷カテッジイン(金谷ホテル歴史館)	徒歩約3分 (約260m)
日光田母沢御用邸記念公園	徒歩約7分 (約500m)
日光植物園	バス約13分 (約3.8km)
JR・東武日光駅	



### 日光田母沢御用邸記念公園

明治32年から3代にわたる天皇・皇太子が利用した御用邸。明治期最大規模の木造建築で、本邸が現存する唯一の建物である。江戸・明治・大正の3時代の建築から構成され、建築学的及び文化的に極めて貴重な建物といえる。また、和洋折衷の造りで当時の皇室の生活様式がうかがえる。

### 日光真光教会

大正5年竣工の教会。設計は宣教師でもあり日光をこよなく愛したJ.M.ガーディナー。外壁には大谷川の安山石を使用。

### 金谷カテッジイン(金谷ホテル歴史館)

元は武家屋敷。明治6年開業の外国人専用宿泊施設。金谷ホテルの歴史を紹介。

### 旧ホーン邸(明治の館)

明治末期、日本に蓄音機を伝えたホーン氏の屋敷として建てられた石造3階建ての洋館。

### 日光真光教会

大正5年竣工の教会。設計は宣教師でもあり日光をこよなく愛したJ.M.ガーディナー。外壁には大谷川の安山石を使用。

### 日光金谷ホテル

明治6年創業。現存する日本最古のクラシックホテル。皇室をはじめリンドバークやアインシュタイン、ヘレン・ケラーなど、多くの著名人が宿泊。東照宮を模した彫刻や格調高い調度品が贅沢な気分を誘う。眠り猫や想像の象の彫刻、小食堂の格天井など内観も見どころ満載。国の登録有形文化財。本館のバーにある石造りの暖炉はフランク・ロイド・ライトの設計ともいわれている。

### 日光真光教会

大正5年竣工の教会。設計は宣教師でもあり日光をこよなく愛したJ.M.ガーディナー。外壁には大谷川の安山石を使用。

### 日光物産商会

明治後期に建設され100年たった建物は木造二階建ての密接造り。明治38年に現在の建物に改修され創建当時と変わらない外観。平成18年に国指定登録有形文化財となっている。

### JR日光駅

明治23年開業の歴史ある駅。「白い貴婦人」とも呼ばれる洋風木造建築の駅舎は大正元年に建て替えられたもの。長年にわたり設計者が不明だったが、当時の鉄道院技手・明石虎雄の設計であったことが近年判明した。※日光駅は平成29年3月まで、リニューアル工により、駅舎が見えなくなることがあります。

